技術紹介

魅せる現場ー現場を支える人々編ー

~蛇穴3号橋 ホームページの取組み~

Promoting the Field of Civil Engineering Forcusing on Workers

好田 武史 *1 福原 恵子*2 好川 桃子*2

Takeshi KOUDA Keiko FUKUHARA Momoko YOSHIKAWA

1. はじめに

本橋の発注者である近畿地方整備局では、若年技術者 確保に向けた新たな取組みとして「魅せる!現場~現場 を支える人々編~」と題したホームページを立ち上げて います。局管内の「道路」・「ダム」・「砂防」・「管理」の 各建設現場のうち道路の魅力を発信する現場として蛇穴 (さらぎ) 3号橋が選ばれました。

土木の「おもしろさ」や「職業としてのやりがい」、「魅力」を一般の方へ発信するために、発注者と現場、そして支店が連携して取り組んだ事例を紹介します。

2. 工事概要

本橋は、大和御所道路(京都と和歌山を結ぶ延長約 120km の高規格幹線道路)のうち御所 IC と御所南 IC 間の蛇穴地区〜池ノ内地区の 228m の高架橋です。

工 事 名:大和御所道路蛇穴3号橋 PC 上部工事

発 注 者:国土交通省 近畿地方整備局

工事場所:奈良県御所市池之内地内

工 期:2013年6月26日~2014年10月31日

構造形式:9径間連続中空床版橋(2連)

橋 長:228.0m×2=456.0m

有効幅員: 11.6m+10.9m



蛇穴3号橋完成写真

3. 取組みの背景

近年,建設産業を取りまく環境は,東日本大震災から の復興,デフレ景気からの脱却を目指した景気対策など, 公共投資の需要増加の一方で,少子・高齢化や建設産業 へ就業する若者の減少など,労働者不足が顕在化してい ます。

改正品確法の目的の一つである「公共工事の担い手の育成・確保」を現場で実現するために、発注者と協議を重ね、若者が安心して、また夢をもって建設産業の門をたたけるように土木の魅力を発信することに取り組みました。

4. 魅力の発信方法

(1) 「魅せる!現場」

「魅せる!現場」とは、見学可能な工事現場を近畿地方整備局のホームページで公開し、一般の方を対象に見学希望者を募集し、普段見ることのできない現場を見てもらうことで社会資本整備について広報を行う企画です。

当現場では、テレビ番組「おはよう朝日です!」(関西ローカル朝の人気番組)の取材を受け、放送を見た一般の方々からの応募、問い合わせを多数いただきました。

見学に来られた近隣の高等学校や自治会等幅広い年齢層の方々は、生活圏内の高速道路の開通に深く興味を持たれ、一日でも早い竣工を待たれていました。短い放送でしたがメディアの力を実感しました。



取材風景



見学会開催状況

(2)「魅せる!現場~現場を支える人々編~」

「現場を支える人々編」は、"技術者"に着目し、土木のおもしろさや魅力を伝える取組みです。近畿地方整備局のホームページに 2014 年 6 月 \sim 2014 年 10 月まで計 10 回掲載し、現在はバックナンバーで閲覧できます。

http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/hitobitohen/index.html

^{*1} 川田建設㈱西日本統括支店事業推進部工事課 係長

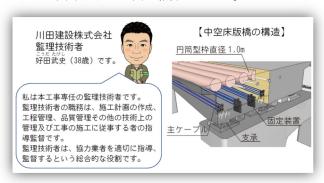
^{*2} 川田建設㈱西日本統括支店事業推進部工務課

5. ホームページ掲載内容について

実際の掲載内容としては各回テーマを決め、職員と作業員に着目して掲載しました。専門的な用語は避け、一般の方や学生向けに作成しました。

(1) Vol.1「全体事業計画 発注者·受注者の役割等」

初回は、現場の紹介が中心で、発注者の主任監督員・現場職員をキャラクターで表現しました。現場の紹介の中では中空床版橋の構造説明をよりわかりやすくするために3D図やイラスト図で紹介しました。



(2) Vol.2「コンクリート打設作業」

職員・技術者それぞれの役割を責任もって行うことにより完璧なコンクリートを目指している現場の姿を伝えました。



(3) Vol.3「緊張作業」

PC 構造物のメイン工種である緊張作業を熟練技術者

が緊張感と誇りをもって 管理をする様子を描きま した。

また、現場に設置した 緊張体験コーナーと模式 図でわかりやすく"緊張" の説明を行いました。



(4) Vol.4「品質管理」

設計図面どおりで発注者の規格にあった製品を期限内に納めるために、どのような管理が必要であるかを説明しています。現場での女性の関わりを紹介し、「土木女子」が活躍できる場所であることを表現しました。





当工事は、国土交通省近畿地方整備局の発注工事です。 発注者の規格、ニーズにあった製品を工期内に納めることが大前提です。

私達は、品質だけでなく、出来形や見栄えの管理にはと ても努力し、寸法は mm 単位で管理しています。 出来上がった寸法の一部を紹介します。

(5) Vol.5「工事完成へ向けて」

最終回であり、発注者・職員・作業員それぞれの役割 分担を結集して現場を完成させた喜びを表現しました。



6. おわりに

今回のホームページは、普段何気なく使っている土木 構造物(橋梁)は、決して一人の力ではなく、多くの技 術者がそれぞれの技術を持ち寄り、チームワークで完成 させるものであるということを少しでも理解していただ きたく作成しました。私たち技術者のものづくりに対す る思いや熱意が心のこもったメッセージとしてご覧にな る皆様に届くことを願っています。

また,このホームページの取組みや多数の見学会の受 入によって,発注者からの高い信頼を得ることができ, 高評価をいただくことにつながりました。

最後に、本工事の施工に際し多大なご指導賜った各位 に深く感謝し厚く御礼申し上げます。